

ストックマネジメントや浸水対策の推進に貢献

高度な安全性能と2倍の寿命でLCC低減を実現

次世代型高品位GM推進協会



◆老朽化が進むグラウンドマンホール

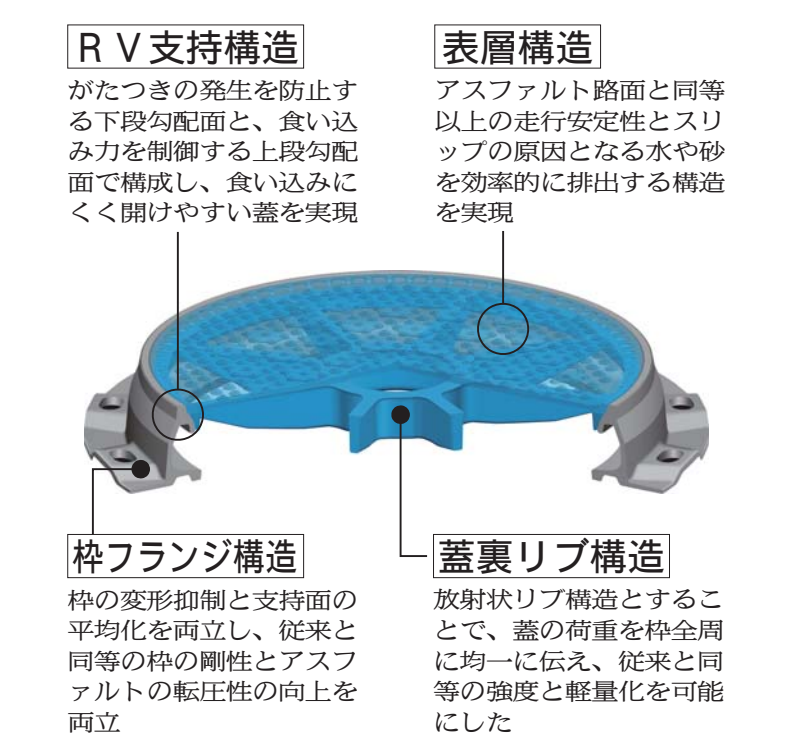
下水道管まきと同様に、GMも今後急速に老朽化することが懸念されている。平成26年度現在、設置後30年を経過するGMは約300万基と全体の約20%となっているが、20年後には約1000万基(約67%)となる見込みだ。老朽化によるGMのがたつきや破損、腐食などにより、車両や歩行者が通行時に事故につながるリスクも増大することから、計画的な更新が求められる。

管路施設の標準耐用年数

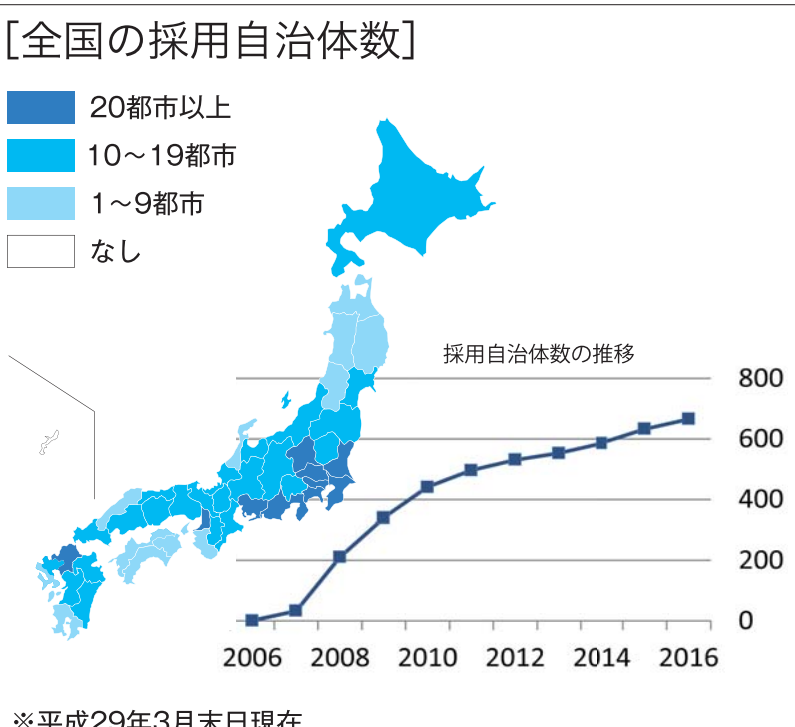
管まき	50年
マンホール	50年
マンホール蓋 車道	15年
マンホール蓋 歩道	30年



高度な安全性能と長寿命を実現する技術



次世代型高品位GMの採用自治体数と普及の推移



今後、取り組んでいかねばならないのが、集中豪雨時に圧力を適切に解放する浸水対策です。すでに腐

自治体を支援する自治体がある技術集団... 次世代型高品位GM推進協会は平成18年4月の設立以来、グラウンドマンホール(GM)が抱える課題を解決し、安心・安全な空間の創出に取り組んできた。協会が提案する次世代型高品位GMは、従来のGMよりも、防犯性能、長寿命化によるライフサイクルコストの低減を実現し、自治体の取り組みを促進してきた。原口康弘氏は、原口康弘氏に話を伺った。



原口 一番大きな成果は、協会の地道な取り組みにより、従来の仕様規定から、性能規定に変更されたことだ。GMは、100カ所あれば、設置環境により100カ所の異なる仕様が必要だ。そこで、例

原口 一番大きな成果は、協会の地道な取り組みにより、従来の仕様規定から、性能規定に変更されたことだ。GMは、100カ所あれば、設置環境により100カ所の異なる仕様が必要だ。そこで、例

更新サイクルを15年から50年へ 第三者試験機関の仕組みを 認識しています。GMの設置環境別の性能劣化状態の把握と整理を

時代感を取った性能規定を提示 設置環境に応じた高品位GMの適用

原口 一番大きな成果は、協会の地道な取り組みにより、従来の仕様規定から、性能規定に変更されたことだ。GMは、100カ所あれば、設置環境により100カ所の異なる仕様が必要だ。そこで、例

原口 先進の下水処理施設で、維持管理更新の仕組として、ストックマネジメントを導入することだ。GMの更新を求め、効果的に更新を進めていく時代に入った。技術・LCCの低減効果が得られるわけだ。GMは、老朽化したGMは、これからの更新サイクルを15年から50年へ

原口 先進の下水処理施設で、維持管理更新の仕組として、ストックマネジメントを導入することだ。GMの更新を求め、効果的に更新を進めていく時代に入った。技術・LCCの低減効果が得られるわけだ。GMは、老朽化したGMは、これからの更新サイクルを15年から50年へ

原口 先進の下水処理施設で、維持管理更新の仕組として、ストックマネジメントを導入することだ。GMの更新を求め、効果的に更新を進めていく時代に入った。技術・LCCの低減効果が得られるわけだ。GMは、老朽化したGMは、これからの更新サイクルを15年から50年へ

◆集中豪雨増加で飛散リスク増大



近年、1時間降雨量50mm、80mm以上の短時間強雨の発生回数が増加しているほか、台風が大型化している。集中豪雨が発生するとGM内の圧力が急激に上昇し、ふたや枠ごとの飛散を引き起こすリスクが高まっている。一定圧力で浮上し、管内の圧力を解放できるふたが求められる。